

函館15 まちあるきマップ

真説・五稜郭物語

～箱館奉行所 “今時代を超えてよみがえる”～

所要時間 60分 距離 1.5km 消費カロリー 180kcal

・半月堡(はんげつぽ)

・武田斐三郎先生顕彰碑(たけだあやさぶろうせんせいけんしょうひ)

・大砲(たいほう)

・土蔵(兵糧庫)(ひょうろうこ)

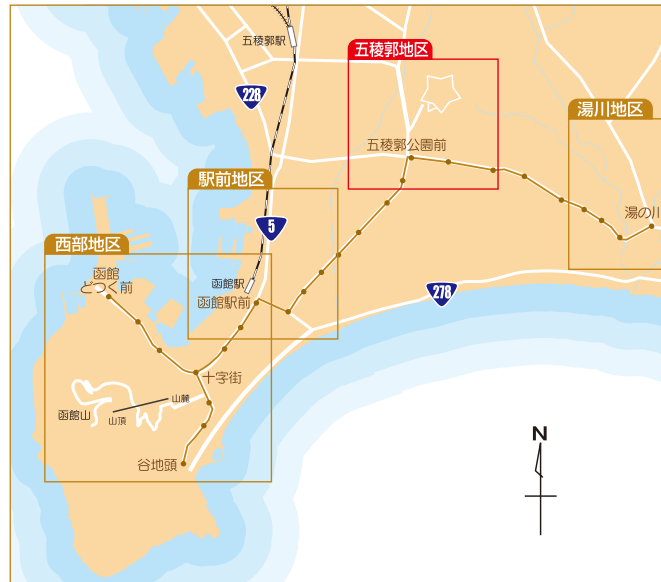
・五稜郭の松林

・箱館奉行所

・五稜郭タワー



函館全体エリアマップ



五稜郭地区



スタート地点までのアクセス

JR函館駅から3.1km(徒歩42分)
市電(函館駅前より湯の川行き)16分

函館
知ってる?
知ってる?

箱館奉行所の変遷

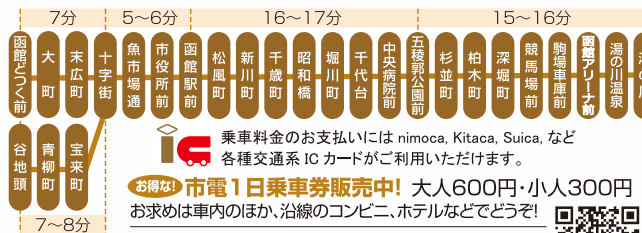
幕府が開港場箱館での諸外国との対応や蝦夷地の防備の為に設置した箱館奉行所は、当初は箱館山の麓(現元町公園内)にありましたが、防備上や生活環境面で問題があったため、港からの艦砲射撃が届かず、亀田川の水が利用できる現在地に移転が決定、五稜郭が築造されました。元治元年(1864)、郭内に竣工した奉行所は幕府の北方経営の拠点となりましたが、大政奉還を経て慶応4年(1868)には新政府の役所となり、さらに箱館戦争時には旧幕府脱走軍に占拠されました。このように短い歴史の中で、幾多の変遷を重ねた箱館奉行所はその後、明治4年(1871)札幌に建設する開拓使庁舎の材木調達を理由に解体されました。なお、平成22年、140年の時を超えて復元オープンしました。

※写真提供/函館市中央図書館



函館市電路線図

湯の川～十字街間は6分間隔で運転しています。



乗車料金のお支払いには nimoca, Kitaca, Suica, など
各種交通系 IC カードがご利用いただけます。

お得な! 市電 1 日乗車券販売中! 大人600円・小人300円

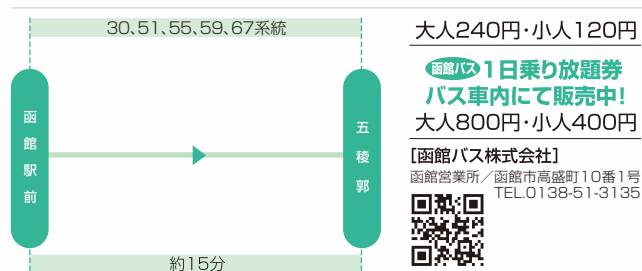
お求めは車内のほか、沿線のコンビニ、ホテルなどでどうぞ!

【函館市企業局】 函館市駒場町15番1号 TEL.0138-32-1730

<https://www.city.hakodate.hokkaido.jp/bunya/hakodateshiden/>

ケータイから各電停の時刻表も見られる!

函館バス(函館駅前～五稜郭)



函館バス 1 日乗り放題券
バス車内にて販売中!
大人800円・小人400円

【函館バス株式会社】

函館営業所/函館市高島町10番1号
TEL.0138-51-3135

函館市公式
観光情報サイト“はこぶら”
<https://www.hakobura.jp/>



フェスティバルタウンはこだてサイト
函館イベントガイド
HAKODATE EVENT GUIDE
<https://event.hakobura.jp/>



発行・お問合せ先



函館市観光部

〒040-8666 北海道函館市東雲町4番13号
TEL.0138-21-3383

1 半月堡 (はんげつぽ)



五稜郭の正面入口を防御するための出塁。西洋式土塁に特徴的な三角形の土塁で、馬出塁(うまだしり)ともいう。当初の設計では各稜堡間の5カ所に配置されていたが、工事規模の縮小などから、最終的に正面の1カ所のみ造られた。

2 武田斐三郎先生顕彰碑

(たけだあやさぶろうせんせいけんしょうひ)



武田斐三郎は、文政10年(1827)伊予国大州(愛媛県大州市)に生まれ、緒方洪庵の塾で蘭学を学び、後に幕府に雇われ、箱館で通訳としてペリーとの折衝にあたった。さらに、西洋式土塁となる五稜郭の設計監督を行い、箱館在住時には諸術調所教授役として数多くの優秀な人材を育成した。

3 大砲 (たいほう)



箱館戦争で使われた大砲が二門展示されている。一門は、口径14cmのドイツ製の砲で、箱館戦争で撃沈された新政府軍軍艦「朝陽」に搭載されていたもの。もう一門は、口径14cmのイギリス製の砲で、旧幕府脱走軍が築島台場に設置していたものとされている。

4 土蔵 (兵糧庫) (ひょうろうこ)



五稜郭の築造当時の建物として唯一現存している建物。大正期には箱館戦争の展示資料館「懐旧館」として利用されていた。昭和48年(1973)・49年(1974)の修復工事により土蔵造りに復元され、平成13年(2001)・14年(2002)には底屋(ひしや)を復元した。

5 五稜郭の松林



五稜郭内には数多くの赤松があるが、五稜郭築造時には郭内だけでなく、郭外にも防風林として植樹されていた。赤松の中には番号札(100番まで)がついているものがあり、これらは五稜郭建造当時のものとして国有財産に登録されているものである。

6 箱館奉行所 (はこだてぶぎょうしょ)



現存する資料や文献を元に、できる限り当時の工法や材料を採用し、平成22年(2010)約140年ぶりに復元された箱館奉行所。全国から結集した宮大工などの職人による匠の技により、往時の姿が再現された。館内は、忠実に再現された建物そのものが楽しめるほか、展示ゾーンでは当時の奉行所や箱館戦争について、また復元工事の様子などを映像や展示品から学ぶことができる。

開館 9:00~18:00(11~3月は17:00)
入場料 大人500円
休 12月31日~1月3日(その他臨時休館あり)

7 五稜郭タワー



昭和39年(1964)に建造された旧タワー(高さ60m)は建て替えられ、平成18年(2006)に完成した新タワーの高さは107m。展望台は、360度ガラス張り、星形の五稜郭が一望できる。タワー内には、五稜郭の歴史を学べる展示スペースがあるほか、散策の疲れを癒すアトリウムや売店なども併設されている。

開館 4月21日~10月20日 8:00~19:00
(その他の期間 9:00~18:00)
五稜星の夢期間(冬季) 9:00~19:00
1月1日 6:00~19:00
入場料 大人900円 休 年中無休

真説・五稜郭物語 ~箱館奉行所 “今時代を超えてよみがえる”~

所要時間 60分 距離 1.5km 消費カロリー 180kcal ※消費カロリーはおおよその目安です。



特別史跡五稜郭跡

平成26年で築造150年
五稜郭跡は、幕末の箱館開港に伴い移転された箱館奉行所を取り囲む西洋式土塁。箱館奉行支配諸術調所教授役で蘭学者の武田斐三郎により、ヨーロッパの城塞都市を参考として設計され、稜堡と呼ばれる5つの突角をもつ星形の土塁が巡らされていることから「五稜郭」の名がつけられた。
五稜郭について~史跡指定範囲の面積:約251,000㎡
堀の幅最大約30m、堀の深さ4~5m、堀の周囲:約1.8km

奉行所の見どころ!



日本伝統の建築技術により、できる限り当時の姿を再現した建物となっている。特に襖を開け放つと72畳の広さとなる大広間は、復元された中でも格式の高い部屋で、使用した木材なども上質なものとなっている。



奉行所の見どころ!



発掘調査で出土した瓦を元に、越前の赤瓦を再現。特に玄関鬼瓦には徳川家の三ツ葉葵紋を復元している。

撮影オススメポイント!!

- 喫茶・休憩
- おみやげ・売店
- 食事処
- トイレ
- 多目的トイレ
- 駐車場
- 休憩所
- インフォメーション
- バス停



ゴール!!